



Press Information

VPR17-081

2017年11月6日(月)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲン 豊橋市への「パサート」無償貸与を開始

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役社長:ティル シェア、本社:愛知県豊橋市、略称:VGJ)は、愛知県豊橋市(市長:佐原 光一、以下「豊橋市」)に11月6日(月)より、フォルクスワーゲン「パサート」、「パサート ヴァリアント」の2台を公用車として無償で貸与します。



今回の貸与は、愛知県豊橋市に本社を置くVGJの地域交流活動の一環として行われます。VGJは、2017年2月から10月に渡り、フォルクスワーゲン初のプラグインハイブリッド「ゴルフ GTE」を貸与しており、今回は第二弾となります。

「パサート」は、フォルクスワーゲンの先進安全機能を搭載しており、同車が市内を走行することで、利用いただく市職員の方々、ひいては豊橋市民の皆さまのクルマの安全性に対するご理解がより深まることが期待されます。

【「パサート」、「パサート ヴァリアント」について】

ミッドサイズセダン&ステーションワゴンである「パサート」は、フォルクスワーゲンの最新テクノロジーを搭載したモデルです。特に先進安全技術においては、歩行者認識機能も備えたプリクラッシュブレーキシステム(衝突被害軽減ブレーキ)、安全な車線移行のためのレーンチェンジアシストシステム、後退時の事故防止のためのリヤトラフィックアラートを全車に標準装備しています。これらの先進安全技術により乗員のみならず、歩行者、他の車両における安全性をも実現しています。さらに効率に優れたエンジンに加えて、軽負荷走行時に4気筒のうち2気筒を休止させるアクティブシリンダーマネジメント(ACT)、Start/Stopシステムとブレーキエネルギー回生システムからなる“BlueMotionTechnology”を全車に採用。20.4km/ℓ(JC08モード)を実現しています。

VGJは、1992年5月に東京都港区から愛知県豊橋市へと本社を移転し、同年10月から世界最大級の自動車専用船が接岸できる専用埠頭、新車整備工場、車両保管庫(カーサイロ)、そして中央部品庫などを備えた国内最大級の規模を誇る「豊橋インポートセンター」の操業を開始しました。以来、日本における全ての正規輸入のフォルクスワーゲン車は、愛知県豊橋市で陸揚げ、そして全国各地へと出荷されており、その累計台数は120万台を越えています。